

東京国立博物館 150周年記念事業
「150年後の国宝展—ワタシの宝物、ミライの宝物」へ出展

Our National Treasures: 150 Years in the Future
ワタシの宝物、ミライの宝物

150年後の
国宝展

2022.11.2(水) → 2023.1.29(日)  東京国立博物館 表慶館
TOKYO NATIONAL MUSEUM (UEENO PARK)

【主催】東京国立博物館 www.tnm.jp 【出展協力企業】IMAGICA GROUP/ENYSI/大塚製薬/大林組/ON-ART/産建建設/学研ホールディングス/キョーマン/クリプトン・フューチャー・メディア/KDDI/湖池屋/サンリオ/JRA/JKA/首都高速道路/シズ/住友不動産/セブン&アイ・ホールディングス/東映アニメーション/東急グループ/東芝/東宝/日本電設工業/八海醸造/バンダイ/バンダイナムコグループ ガンダムプロジェクト/ビームス/ベネッセホールディングス/本田技研工業/丸紅/吉本興業 【運営協力企業】NIPPON EXPRESSホールディングス/安田不動産

東京国立博物館ができた明治5年から150年。トータル史上初の公募型展覧会がはじまります。個人や企業から集められた“ワタシの宝物”を「150年後の国宝候補」として展示します。その候補は、わたしたちの生活の中にある、携帯電話、車、マンガ、ゲーム、ファッション、映像、ロボット、食文化、建造物や風景。「150年の 月日」が新たな国宝を生み出す、壮大な タイムカプセルです。

詳しくは
こちらから




当社は東京国立博物館 150周年記念事業「150年後の国宝展—ワタシの宝物、ミライの宝物」に”鉄道電気技術”をテーマとした「150年後の国宝候補」を出展しました。

当展覧会は、東京国立博物館 創立150周年記念事業としての催し物であり、個人や企業から集められた“ワタシの宝物”を「150年後の国宝候補」として展示しています。

今年は鉄道開業150周年でもあり、鉄道電気工事のリーディングカンパニーである当社は、創立より80年の歴史の中で培った鉄道電気技術の象徴として架線（ちょう架線とトロリ線）を出展していますので是非ご覧ください。

なお、当社は当展覧会の会場となっている東京国立博物館の電気設備工事を担当し、文化の保護と継承に貢献しています。

【展覧会概要】

東京国立博物館 創立150年記念事業

「150年後の国宝展—ワタシの宝物、ミライの宝物」

会期：2022年11月2日（水）～2023年1月29日（日）

休館日：月曜日（祝休日の場合は翌平日休館、ただし2023年1月3日（火）は開館）、2022年12月26日（月）～2023年1月1日（日）

開館時間：9時30分～17時00分

会場：東京国立博物館 表慶館

観覧料：総合文化展観覧料

または開催中の他の特別展観覧券（観覧当日に限る）でご覧いただけます。

〔総合文化展観覧料〕 一般 1,000円 大学生 500円

公式サイト：<https://150ourtreasure.jp/>

[企業部門] 鉄道電気技術



展示物（ちょう架線とトロリ線）

